

平成29年度 施策評価表

作成年月日：平成30年9月28日

課・グループ名

保健福祉課健康子育てグループ
保健福祉課福祉障がいグループ
住民課国保医療グループ

施策名 4－(3)－⑦ 児童福祉の充実

1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(3) 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり	⑦児童福祉の充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 南幌町要保護児童対策地域協議会におけるネットワークにより、児童虐待などの未然防止及び早期発見に努めます。 ● 子どもの発達支援については、関係機関がネットワークをつくることで、発達支援体制が充実するように努めます。 ● 子育て家庭の孤立や育児不安を軽減できるよう、子育ての仲間づくりや子育てに関する情報提供、相談体制、保育サービスの充実を図ります。 ● せわすき・せわやき隊の活動促進を図るために、新規隊員募集の広告を広報誌などに掲載し、広く町民に周知します。 ● 小、中、高生に対する医療費の一部又は全額助成は、健康の保持と福祉の増進を図り、併せて子育てに係る費用を軽減するため、今後も継続します。 ● 保育所利用者負担額を引き下げるとともに、利用者負担額を決定する際の階層区分を細分化し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南幌町子ども・子育て支援事業計画に基づき、学童保育、子育て支援センター事業、保育所での一時預かり、延長保育、ファミリー・サポート・センター事業等の子育て支援を行っています。また、保育所は、民間により円滑な運営がなされています。 ● 南幌町要保護児童対策地域協議会において、関係機関との連携を図ることにより、児童虐待などの早期発見に努めています。 ● 早期療育事業については、発達に心配のある子どもに療育を行い、保護者が安心して子育てができるように進めています。 ● 「せわすき・せわやき隊」による児童・生徒の見守り・声かけ活動は定着してきており、子どもたちと隊員などの地域住民と気軽に挨拶を交わすなど、挨拶運動にも寄与しています。 ● 乳幼児、児童生徒等の医療費助成事業の範囲を高校生まで拡大しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発達に心配のある子どもの早期発見・早期療育に努めるとともに、支援体制を充実させるために関係機関とのネットワークづくりを行っていく必要があります。 ● せわすき・せわやき隊員の高齢化に伴い、隊員数が減少しています。安心して住める環境づくりのためにも、新規隊員の増強を積極的に進めていくことが必要です。 ● 児童虐待は、子どもの心身を傷つけ、健やかな成長・発達を損なうことから、普段から子どもや保護者に接する関係者は、子どもや保護者の様子を見守っていく必要があります。 ● 家族の生活形態の多様化により、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできる支援体制が求められています。また、子育てに関する不安感・負担感を解消するための情報交換や相談の場が求められます。 ● 小、中、高生の医療費に対する助成事業は、病気の早期発見、早期治療を促進し、子育て世代の経済的な負担軽減になっているため、継続する必要があります。 ● 本町の保育所利用者負担額は、国基準より減額している階層があるものの、近隣市町より高い状況にあります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名		数値化		
	地域住民による児童生徒の見守り活動を定着させ、「地域の子育て力」の向上を図るため、すきやき隊延べ活動日数を代替指標として設定する。	成果指標 (総合計画・施策評価)			可	能	
		代替指標 ※成果指標がない場合			不	可	
		すきやき隊延べ活動日数		○	可	能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標	日	22	22	22	22	22	
実 績	日	23	22	25	24		
達成率	%	104.5	100.0	113.6	109.1		春及び秋の交通安全運動期間に祝祭日が含まれると活動日が減少する。

評価視点	評価結果	理由、課題・問題点
③施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	施策の達成度
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)	
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	A
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)	
<p>毎月19日の道民育児の日及び春、秋の交通安全運動期間において児童生徒の登下校時の見守り活動を行い、安心安全な子育て環境の保全を図っている。児童生徒数の減少、隊員の高齢化及び固定化により、活動人数の増加は難しい状況であるが、町広報やポスター等により隊員の新規加入を推進している。</p> <p>児童を取り巻く家庭環境や子どもの発達、経済状況などを考慮し、関係機関とネットワークをつくり、安心して子育てができるよう各種事業を展開している。</p>		

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】 事務事業の種類	【必要性】 事務事業の必要性	【妥当性】 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施設)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H29実績	H30予算	
					実績								
1	子ども・子育て支援事業	(1)	保健福祉課	①子育て相談件数 ②交流の場の利用延べ人数 ③講習会等の利用延べ人数 ④地域支援活動 ※前年度実績値を目標値とする。	① 14	①件	学童保育、子育て支援センター事業、保育所の運営に加えて一時預かり、延長保育などの子ども・子育てに関する事業を実施する。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	133,118	高い	
					② 3,288	②人					195,834		
2	早期療育事業	(1)	保健福祉課	①個別指導実人数 ②集団指導実人数 ③発達相談実人数	① 40	人	個別指導や集団指導、発達相談を行う。幼稚園、保育園、学校等の関係機関と連携し、子どもの行動や接し方について情報交換を実施し、発達を促す。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	208	高い	
					② 15						③ 15		189
3	せわずき・せわやき隊活動事業(すきやき隊)	(1)	保健福祉課	延べ活動人数	1,320	人	地域の住民による児童・生徒の見守り活動を定着させることにより、南幌町における「地域の子育て力」の向上を図る。	Ⅰ	Ⅰ	1 現状のまま継続	159	高い	
					1,090						55		
4	要保護児童対策地域協議会推進事業	(1)	保健福祉課	対応した件数	4	件	要保護児童、要支援児童もしくは特定妊婦への適切な支援を図るため、要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関が連携して必要な情報の交換を図る。代表者会議、個別ケース検討会議等。	Ⅰ	Ⅰ	1 現状のまま継続	0	高い	
					8						0		
5	児童生徒等医療費助成事業	(1)	住民課	対象児童生徒数	560	人	患者負担割合3割を1割負担とする。小学生以下については、全額助成により負担なし。(差額の患者負担2割を南幌町が負担)	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	13,774	高い	
					557						15,129		

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H29事業費	147,259
H30予 算	211,207

②H30に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	・子ども・子育て支援事業は、少子化や核家族化の増加により就労家庭等への子育て支援を行うことで児童の安全確保、子育ての不安解消を図るためにも効果的な事業である。また、療育や虐待予防等においては、関係機関や地域での連携により支援を行っている。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し 等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性	事業番号					平成30年度以降 の予算の方向性	
			A						
			B	1	2	4	5		拡大
			C	3					○
		D						縮小	